

## 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

### 1 概要

「人生百年時代」を迎えた今日、高齢者がいきいきと活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっており、シルバー人材センターに対する期待はますます大きくなっています。令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業・活動が中止となりましたが、本年度後半には地域奉仕活動や会員研修会を開催するなど、徐々にコロナ前に戻りつつあります。このような中、令和4年度の事業概要は以下のとおりとなります。

「就業の拡大」については、一部企業が請負から派遣に切り替わりましたが、請負事業の実績は前年並みの111,738千円となりました。一方、派遣事業については、新たな就業開拓や一部企業が請負から派遣に切り替わったことにより前年比31.3%増の19,723千円となりました。この結果、請負と派遣の合計は前年比4.9%増の131,461千円となりました。本年度は、山形労働局と山形県シルバー人材センター連合会の指導のもと「適正就業ガイドライン」に基づき調査した結果、令和5年度からは14就業が請負から派遣に切り替わることとなります。

「会員の拡大」については、月1回の定例、女性限定及び出張入会説明会を開催した結果、新規会員23人の入会となりました。しかし、健康面や高齢等により退会会員が34人となりましたので、前年より11人減の223人と大幅な減となりました。当面の目標は、コロナ前（令和元年度）の水準（238人）に回復させることにしていきます。

「安全就業」については、安全・適正就業委員会による安全パトロール、安全対策員による仲間への安全指導、草刈り班、剪定班の安全講習会を開催し会員の事故防止に努めてきましたが、傷害・損害賠償事故は前年より2件多い7件となりました。ここ数年、転倒による傷害事故が多くなっている状況にありますので、今後、転倒防止講習会等を検討していきます。一方、毎年のように発生していた草刈り作業中の飛び石による物損事故は0件となりました。

「センター財政」については、令和5年10月から導入される消費税のインボイス制度、今般の物価上昇に対応していくため、令和5年度から事務費改定に向け準備を進めてきました。同時に、山形県最低賃金を下回っている配分金を見直し令和5年4月から改正していきます。

今後の課題は、除草・剪定等外作業班の後継者育成が喫緊の課題となっています。シルバー人材センターを取り巻く環境は日々変化していますが、これからも会員・役職員一丸となって地域社会の期待に応えていけるよう努めていきます。

以下、主な事業実施状況について報告します。

## 2 事業実施状況

### (1) 就業の拡大

#### ① 請負事業

発注者別実績では、「企業等」については請負から派遣に切り替わった一部企業がありましたが前年比 5.1%増の 52,950 千円、「公共」は前年並みの 39,561 千円となりました。一方、「個人家庭」は、植木剪定、除草及び除雪件数の減から前年比 7.2%減の 19,227 千円となりました。

これらの結果、請負事業実績は前年比 1.3%増 (1,461 千円) の 111,738 千円となりました。

#### 事業実績（請負）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R3	234 人	232 人	1,233 件	110,277 千円	25,333 人日
R4	223 人	226 人	1,219 件	111,738 千円	25,137 人日
比較	△11 人	△6 人	△14 件	1,461 千円	△196 人日

#### ② 派遣事業

新たな就業開拓や一部企業が請負から派遣に切り替わった結果、前年比 31.3%増 (4,701 千円) の 19,723 千円となりました。

#### 事業実績（派遣）

年度	登録会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R3	28 人	28 人	24 件	15,022 千円	3,019 人日
R4	50 人	50 人	19 件	19,723 千円	3,680 人日
比較	22 人	22 人	△5 件	4,701 千円	661 人日

#### ③ 全体（請負＋派遣）

請負と派遣の合計実績は、前年比 4.9%増 (6,162 千円) の 131,461 千円となりました。

#### 事業実績（請負＋派遣）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R3	234 人	244 人	1,257 件	125,299 千円	28,352 人日
R4	223 人	240 人	1,238 件	131,461 千円	28,817 人日
比較	△11 人	△4 人	△19 件	6,162 千円	465 人日

### (2) 会員の拡大

当センターが地域高齢者の「生涯現役社会」実現の受け皿となり、多様な地域の声に応じていくためには「会員の拡大」が基本となります。次の取り組みを実施した結果、新規入会者は 23 人となりましたが、健康面や高齢等で退会者が 34 人となり、前年より 11 人の減となりました。

○入会説明会（毎月第 1 水曜日）の実施

- 出張入会説明会（町内5地区）の実施（3月）
- 女性限定入会説明会の実施（10月）
- 会員一人ひとりによる友人や知人への勧誘活動
- 夫婦会員の場合、一方配偶者の年会費免除の実施
- 会員募集チラシの全戸配布（2月）
- 広報「シルバー河北」を活用し、会員募集の周知（9月、2月）

**会員の入会・退会状況**

年度	入会者数	退会者数	年度末会員数
R3	20人	29人	234人
R4	23人	34人	223人
比較	/		△11人

**(3) 安全・適正就業の推進**

**① 安全就業の推進**

「安全は全てに優先する」を合言葉に安全・適正就業委員会を中心に、次の活動に取り組み会員の事故防止に努めました。傷害事故（6件）・損害賠償事故（1件）の合計7件と前年より2件増となりました。傷害事故については転倒に伴う事故が多くなっており、県連合会と協議し転倒防止講習会の開催などを検討していきます。

また、例年、数件発生していた除草作業中の飛び石による物損事故は0件となりました。新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き会員への注意喚起を実施しました。

- 「就業現場巡回安全パトロール」の実施（9月、12月）
- 安全就業の意識高揚を図るため「安全標語」の募集（7月）
- 「安全就業たより」の発行（年6回）
- 「機械器具の安全点検と整理整頓」の実施（3月）
- 会員の「健康診断受診」及び「自家用車任意保険加入」の勧奨
- 刈払機安全対策講習会の実施（5月）
- 植木手入れ安全講習会の実施（6月）
- 安全運転講習（県シ連主催）への参加（6月、10月）
- 安全就業推進員研修会（県シ連主催）への参加
- 新型コロナウイルス感染症に対する会員への注意喚起

※「交通安全ゆとり号」による運転者適性診断については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

**② 適正就業の推進**

就業の前提となる「適正就業ガイドライン」を基本に、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、「グループ就業」と「ローテーション就業」の推進に取り組みました。また、会員により公平な就業機会を提供するた

めに令和4年度から「継続就業期間等に関する要綱」を施行しました。

#### (4) 普及啓発と地域貢献

##### ① 普及啓発

シルバー人材センターの目的や事業内容を町民に広く周知し、センターのイメージアップを図るため、次の取り組みを行いました。

- 広報「シルバー河北」の発行（年2回）
- 町広報誌にセンター情報記事の掲載
- 「普及用チラシ」と「会員募集チラシ」の全戸配布（4月、2月）
- ホームページの活用

##### ② 地域貢献

シルバー人材センターは、地域社会の福祉と活性化に寄与することも大きな目的となります。コロナ感染対策を行いながら、次の奉仕活動を実施しました。

奉仕活動内容	活動会員	参加人数
溝延城址公園の除草 8月20日	溝延班	15人
シルバーの日（谷地中央通り歩道の除草）9月10日	全会員	96人
谷地中央通り交差点の除雪 2月13日	谷地中部・北部班	25人

#### (5) 講習会及び研修会の開催

会員が就業上必要な技能や知識を取得し、会員のスキルアップを図るため、次の講習会を開催しました。新型コロナウイルス感染防止のため、令和元年度から中止していた全会員対象の会員研修会については、3地域班毎に分散して2月に行いました。

##### 《講習会状況》

##### ◎河北町シルバー人材センター主催

開催日	講習内容	受講人数
5月17日	家事援助型訪問サービス事業研修会	11人
5月18日	刈払機安全対策講習会	20人
6月21日	植木手入れ安全講習会	12人
11月14日	雪囲い講習会	13人
11月16～18日	毛筆筆耕講習会	8人

##### ◎高齢者活躍人材確保育成事業（県連合会と共同開催）

開催日	講習内容	受講人数
7月15日	学童保育補助スタッフ講習	5人
8月26日	家事援助スタッフ講習	5人

#### ◎県連合会主催

開催日	講習内容	受講人数
6月29日	安全運転講習	4人
10月17・21・25日	安全運転講習	5人
11月28日	マナー講習会	6人

#### ◎会員研修会

開催日	講習内容	受講人数
2月16・17・20日	会員研修会	151人

#### (6) 女性会員事業の推進

女性会員相互の親睦の輪を広げるため女性委員会事業として、11月11日に河北中央公園で「ノルディックウォーキング」を実施しました。当日は、河北歩こう会会長の中上亮一さんを講師に招き女性会員13人が参加、親睦だけでなく健康増進も図られました。

また、女性班代表者会議については、新型コロナウイルス感染予防対策のため、意見等についてアンケートで代替えとしました。

#### (7) シルバー派遣事業の取り組み

昨今の地域社会の多様なニーズに応じていくために、「請負事業」で対応できない就業については、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「シルバー派遣事業」で取り組みました。

#### (8) 組織体制の充実・強化

「自主・自立、共働・共助」という基本理念のもと、理事会をはじめとする各組織が、活力あるセンター運営に努めました。「理事会」「専門委員会」「事務局」のキャリアアップのため研修会については、新型コロナ感染防止のため中止となりました。

職員体制については、男性職員が年内に二人退職していますので、職場環境を含め調査・検討が必要です。